

基礎学力の向上と学習規律の定着に向けた実践

【杉戸町教育委員会】

1 学校、学年、教科 小学校、全学年、国語・算数

2 ねらい

児童に基礎的・基本的な学習内容を習得させるとともに、学習の前提となる学習規律の定着を図る。

3 取組内容

(1) 「基礎学力の向上」

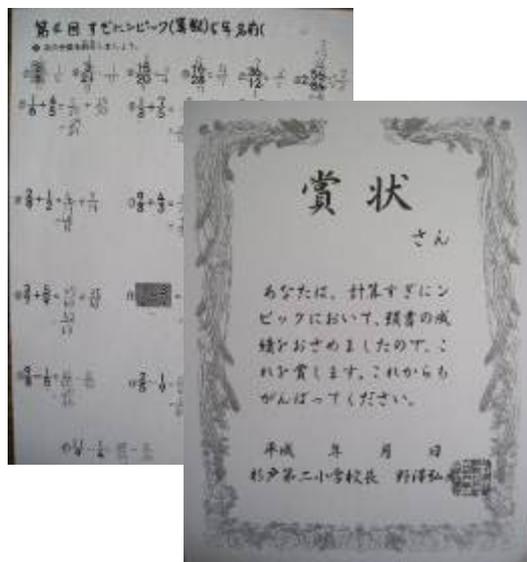
ア 漢字・計算の基礎・基本の定着を図る学びタイム（火曜日・金曜日の業前）

- ・漢字や計算ドリルを繰り返し行い、基礎・基本の力を身につける。
- ・すぎにンピックを実施し、漢字や計算の習熟を図り、目標を持って取り組ませる。

〈すぎにンピック〉

学期毎に漢字と計算の基礎基本のテストを年間6回実施。問題は20問（1問5点）、学年で作成。2週間前に出題範囲を知らせ練習させた。100点～90点 金賞、89点～80点 銀賞、再テストで80点以上 銀賞のミニ賞状を渡す。

- ・サマースクール（夏季休業中の補習）を6日間実施した。杉戸町学力調査で平均に満たない児童やすぎにンピック再テスト不合格児童に呼びかけ実施した。児童が参加しやすいようにプール学習の前後に実施した。



イ 算数科授業の中で

- ・既習事項を基に自力解決できるような授業の展開を図る。
- ・1時間の授業の中で「わかった」「できる」を実感させ、達成感のある指導をする。
- ・学習の進め方に沿って授業を進め、また授業の最後に今日の授業でわかったことを自分の言葉で書かせる。

〈学習の進め方〉

教員の共通理解をもとに、算数の学習の進め方として、

- ①問題・課題をつかむ
- ②予想する
- ③考える（自力学習やヒントカード、学習カードの利用）
- ④くらべる（友達の考えを出し合い自分の考えと比べ、共通点をさぐる。）
- ⑤まとめる（本時の学習したことをまとめる。ノート指導の徹底）

学習の進め方等の掲示



ウ 家庭との連携

- ・音読は、毎日行う。
- ・宿題を含め、毎日家庭学習に取り組ませる。

低学年… 30分以上 中学年… 40分以上 高学年… 50分以上

(2) 「学習規律の定着」

ア 学習の準備

- ・授業の終わりの挨拶をしたら、次の授業の準備をしてから休み時間にする。

イ 正しい言葉づかいをする（あいさつと返事）

- ・掲示の活用「はい～です。」「なぜなら～だからです。」等
- ・できた児童を称賛し、定着を図る。

ウ 生活目標、規律ある態度の目標の掲示と児童理解支援委員会

- ・月ごとの生活目標について、チェックカードを使い、自己評価させ、その結果を基に児童理解支援委員会を開き、指導の改善を図る。

仕事がんばりチェックカード		12月				
		第6期				
		よくできた◎ だいたいできた○ できなかった△				
		5日	6日	7日	8日	9日
帰る時、どうさんなど、ただしくついで、そりおきます。						
おみやげやうりばんのしごきおんがります。						
【印刷】						

4 成果と課題

(1) 「基礎学力の向上」

- ・国語・算数の基礎学力の定着の時間（学びタイム）を日課表に位置づけ、基礎基本の徹底を図った。この取組により基礎基本の定着が図られた。
- ・学校での取組状況や家庭での協力等を学期末懇談会資料や学校・学年だよりを通して呼びかけ、啓発を図った。学校への理解が深まり、学力向上への協力が得られた。

(2) 「学習規律の定着」

- ・規律ある態度の育成として、道徳・学級活動及び生徒指導と関連づけ規律ある態度の目標を設定し、児童理解支援委員会では、その目標に対する各学年からのデータをもとに話し合った。その結果、職員の児童理解がより深まり、落ち着いて学習に取り組む児童が増えた。